

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102898
法人名	株式会社 ケアセンターとかじ
事業所名	グループホーム清風
所在地	松山市味酒町1丁目9番地15
自己評価作成日	平成21年11月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

様々な入所者様が共に楽しく明るい雰囲気の中で生活されています。お一人おひとりの状態に応じて、必要な援助を行っています。提携病院が隣接しており、すぐに対応できるよう連携しているため、安心して過ごして頂けます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

年1回、ご家族・利用者・職員が集う食事を市内ホテルで開催し、今年も80名近くの参加があった。ご家族の来訪時に利用者ご本人の様子等を報告され、ご意見を聞くようにされている。
地元から入居している利用者は、知人や友人の訪問があり、一緒にお茶を飲んだりおしゃべりして過ごされている。散歩の途中に近所のお店へ立ち寄り、お菓子など買われる方もある。ご家族と温泉や外食に行かれたり、法事に出席される方もある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム清風

(ユニット名) 3F

記入者(管理者)

氏名 阿部 真之介

評価完了日 21年 11月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			共有した理念の下、実践につなげている。	
			(外部評価)	
			「生命の質 人生の質 を大切に考える福祉を基本理念とする」という母体法人全体の理念を各ユニットの居間に掲示されている。新人職員研修時、管理者は理念について説明されて「今までの生活のこと、ここでの生活のこと、職員が気付くことが大事」と話されている。	地域密着型サービスとしての役割の大切さを管理者はよく理解されており、地域との連携にも積極的に取り組まれているが、母体全体の理念とともに、事業所の意義や目的等も踏まえて、全職員で地域密着型サービス事業所として目指すことを話し合い、事業所独自の理念や目標等を掲げて、実践につなげていかれてはどうか。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の活動（運動会、文化祭、地域の清掃など）に積極的に参加している。また管理者が味酒地区の体育協会に入っており味酒地区での行事では役員として参加し準備から運営まで関わっている。	
			(外部評価)	
			年2回、地域の幼稚園の園児が事業所を訪れてくれており、利用者が作った折り紙の首飾りをプレゼントされた。又、職員が、幼稚園の節分の豆まき等の行事に参加して、鬼役をされる等交流が続いている。ホーム前の公園の清掃を公民館の役員の方や地元の方達とともにされている。利用者は地域祭にはお神輿が来るのも楽しみにされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域交流委員会を設立し、委員会時には話し合いを行い地域に役立てるよう取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に1回開催し、地域の方や行政の方にも参加して頂き、意見交換しその後のサービス向上に生かしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議の際に、事業所内で利用者と共におやつ作りをされたこともある。参加者からは、「栄養士のお話も聞けてよかった」と感想をいただいた。</p>	<p>会議に地域の方や市の担当者の参加はあるが、現在はご家族の参加はなく、事業所側からの会議の案内も行っていないようである。運営推進会議の意義の理解をさらに深め、会議のすすめ方について工夫を重ねていかれてほしい。いろいろな立場の方からのご意見や要望をお聞きして、ケアサービスの質向上につなげていかれることが期待される。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都度市町村とも連携を取り協力関係を築いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>生活保護受給者の生活について、市の担当者の方に相談されている。</p>	<p></p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束マニュアルの作成、身体拘束廃止の勉強会を通じて職員に周知徹底し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人内で委員会を設けて研修を企画されており、職員で身体拘束廃止の勉強もされている。</p>	<p></p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会の参加や、新人研修の際にも虐待予防のマニュアルから話している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在対象者はおられないが、研修会に参加し活用できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分に説明し納得していただき同意を得たうえで署名、捺印を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けており、その旨を施設内に掲示している。また契約時にもその旨を説明しており、外部の苦情相談先も説明している。 (外部評価) 年1回、ご家族・利用者・職員が集う食事会を市内ホテルで開催し、今年も80名近くの参加があった。ご家族の来訪時に利用者ご本人の様子等を報告され、ご意見を聞くようにされている。	 年1回の家族会やご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や暮らしぶり等について報告はされているが、ご家族が知りたいこと等も探り、事業所側からの定期的な報告について検討されてはどうか。事業所からの報告をすすめ、さらに事業所のサービスについて、具体的なご意見や要望を引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日常において話をしながらおこなっている。	
			(外部評価)	
			職員は、日々の申し送りで情報の共有に努めておられる。2か月に1回、法人内事業所のリーダーが集まる会議があり、その中でいろいろ問題点等について話し合われている。	問題が生じた際、職員で話し合うようになっているが、定期的に職員が集まり話し合う機会も作ってはどうだろうか。グループホームはチームケアが特徴でもあり、職員間の情報共有やチームワークを育てるためにも、職員が集まる場を作っていかれてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			日頃から職員一人一人と接し、適宜アドバイスしながら、またモチベーションが上がるような話を通して職場環境・条件の整備に努めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			グループホーム協会や外部の研修に参加している。会社内では入社時に新人研修を行い、定期的に内部で研修を行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			現在相互研修はしていない。グループホーム研修や、地域包括の研修などで交流している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			基本情報を職員全員が把握し、利用者様が困っていること、不安なこと、要望を確認している。サービス開始時は特に頻回に話を聴いたり、居室に訪問し、生活状況の観察に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>利用者様同様、家族様が困っていること、不安なこと、要望を職員全員が把握し、傾聴できるよう努めている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>専門的な見極めを含み、利用者様、家族様が必要としているサービス支援が提供でき、他のサービス利用も考慮し対応できるよう努めている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>利用者様と一緒にソファに座り、同じ時間を共に過ごしている。ホットケーキを作ったり、散歩に出かけたりして一緒に楽しみを共有している。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>家族様が面会に来られた時は一緒に時間を過ごせる環境を作っている。また、相談にその都度対応している。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>馴染みの場所に散歩に行ったり、地方祭や面会者を通して関係継続の支援に努めている。</p>
			(外部評価)	<p>地元から入居している利用者は、知人や友人の訪問があり、一緒にお茶を飲んだりおしゃべりして過ごされている。散歩の途中で近所のお店へ立ち寄り、お菓子など買われる方もある。ご家族と温泉や外出に行かれたり、法事に出席される方もある。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士が孤立しないように関わっている。利用者様同士が助け合って生活されている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	場合によっては必要に応じている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者本人本位で考え、その都度検討している。
			(外部評価)	
			入居時にお聞きしたことをフェースシートに記入されていた。「サマリー」に、ご本人と家族の希望が書かれていた。日々のお散歩や買い物等、なるべくご本人の意向を尊重して「行ける時に対応している」と職員は話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	家族様から情報を得たり、本人様との会話の中でこれまでの生活歴の把握に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	生活の中で関わる中で状態の細かい把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>担当者がそれぞれの意見を調整し介護計画の作成にあたっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、半年ごとに見直しをされている。ご家族には、来訪時に見ていただいて希望をうかがっている。ご家族から「穏やかに生活して欲しい」等の要望があり、各ユニットのリーダーが、それらを踏まえて介護計画を立てておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に記録し、もれのないようにして職員で共有できている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の要望に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 主治医による月2回の定期的な訪問診療や利用者様の 状態変化による往診、他科受診など医療と適切な連携 を図っている。 (外部評価) ほとんどの利用者は、母体病院がかかりつけ医であり 2週間に1度、往診があり、24時間、医師、看護師 が対応してくれるようになっている。又、歯科・眼科 の訪問診療もある。皮膚科受診時には、職員が同行さ れている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 施設内や提携病院の看護師と連携を保ち適切な援助を 提供できている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時にはそれまでの状況が明確に分かるよう記録な どの資料を作成し引き継ぎを行っている。退院に至る までの状況も細かく把握している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入所時や状態変化時には本人・家族等とお話し、密に 連絡を取り合いながら今後の方針を決定してる。 (外部評価) 事業所で重度化・看取り支援の指針を作成し、入居時 に事業所でできることについて説明をされている。こ れまでに、一人の利用者が事業所で「最期までお願い したい」というような希望があったが、最期は病院で の看取りとなった。状態変化時には、母体病院の医師 も含めて今後のことについて話し合っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	定期的に訓練を受け、個々人がしっかり身につけ、実際に発生した時は対応できるようにしている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	火災発生時等の対応の訓練、消防職員立ち会いのもと防災訓練を定期的に行っており、マニュアルに基づいて実施している。
			(外部評価)	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	当施設の理念のもと利用者様の立場に立った対応をしている。
			(外部評価)	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	できるだけ利用者様の意向をくめるよう配慮している。利用者様の喜ばれる顔も見られることを大きな喜びと感じている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩や買い物、趣味など希望に沿って支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着衣交換時どれを着たいか伺い、準備している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 料理の下ごらえや食器拭きなど、利用者様から声をかけてくださることもあり、一緒に取り組んでいる。 (外部評価) 食事のメニューは母体病院の栄養士が立てて、食材は近所のスーパーから届くようになっている。お茶碗によそうご飯を計量されており、利用者個々の摂取量が決められている。青魚のアレルギーのある方には、白身魚に代替えされていた。利用者の状態によって、自助具のスプーンやお皿を使用されている方も見られた。利用者の状態に応じて食器も軽いものを使用しておられる方もある。ピンク色がお好きな方にはピンク色の茶碗を用意される等、茶碗とコップはそれぞれ個別のものを使用されていた。	利用者の誕生日には食事の意向をお聞きして、お寿司等を探り入れておられるが、日常の食事の中でも、利用者のご希望に合わせた食事作りができるような工夫はできないだろうか。利用者個々が食事を楽しむ支援について工夫できることはないか、職員で話し合ってみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者様の一日の摂取量をそれぞれ把握し、バランス良く一人一人に応じた支援を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 義歯を外し洗浄したり、口腔内の届かない場所は職員が介助しケアをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	一定の時間をおいて声かけし、また訴えがある場合はその都度対応している。
			(外部評価)	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	就寝前に牛乳をのまれたり、起床時水分をお勧めしたり、室内の歩行訓練やリハビリ体操の実施を促して、排泄を促している。
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	利用者様の希望する時間に合わせて支援している。
			(外部評価)	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	利用者様の希望に応じ、居室へ誘導したり、居室を訪ね更衣、消灯などを介助している。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員一人一人が薬品の情報を日頃から確認し利用者の体調変化に気づけるようケアを行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ちぎり絵、ぬり絵、折り紙などの趣味を楽しまれる時など、職員と一緒にいき、分からない所はアドバイスする等して気分転換等の支援を行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日などに利用者様に声かけし、散歩などの外出出来る機会を作っている。	
			(外部評価) 日々のお散歩は、近くの公園や堀之内公園等に出かけておられる。年間計画を立てて「ドライブレク」に出かけておられ、最近では伊予市の「いよっこら」で地元産品の買物が人気だったようである。お正月には初詣に行き、お食事をして帰られたり、ご家族と外食に出かける方もある。	体調のこともあり「ドライブレク」に参加できない方もあるようだ。「外出する機会が少なくなっているような方の楽しみごとを見つけたい」と職員も考えておられた。ちょっと外気に触れて、気分転換ができるような機会は作れないだろうか、利用者個々の行きたいところをお聞きしたり、ご家族とも相談され、外に出る機会を増やしていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者様の希望に応じて、一緒に買い物に出かけたり、自己管理されるお金での買物を支援したりしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望時に連絡が取れる体制をとっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節によって壁の絵や玄関の小物を変えることで季節感を取り入れている。	
			(外部評価)	
			各ユニットの入り口と、下駄箱の上に小物でクリスマスの飾りが飾られてあった。エレベーターの入り口に避難経路を示す図が貼られてあり、壁には理念、長寿の心得が額に入れて掲示されていた。居間にはテレビやソファもあり、それぞれが好みの場所で過ごされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			ホールでは利用者様同士で会話を楽しまれたり、TVを一緒にご覧になられたり、それぞれ思い思いに過ごされている。	
			(外部評価)	
			利用者様の馴染みのある物品を持ちこみ頂き、今までの暮らし方を尊重できるようにしている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			利用者様の馴染みのある物品を持ちこみ頂き、今までの暮らし方を尊重できるようにしている。	
			(外部評価)	
			鏡台や茶箆笥を持ち込まれたり、犬がお好きな方は、犬の写真入りのカレンダーやポスターを貼っておられる。以前、ご自分で編んだカバーがかかっているクッションや、自作のパッチワークのベッドカバーを使っている方もある。ちぎり絵のお好きな方は作品が部屋いっぱい飾ってあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			利用者様が一人で出来ることは横で見守り、危険が発生してもすぐに対応できるようにして、自立を促している。	